

各地の話題 大和町

2024年6月7日号掲載



故郷の田園風景を未来へ繋ぐ ～頼もしい地域の担い手～

大和町吉田地区で、令和5年5月2日に設立された（株）大輪は、水稻 24 畝、ダイズ 7 ha のほかネギやピーマン、サツマイモなどを栽培している。

法人設立のきっかけは、高齢化が進む地域で基盤整備事業の話が持ち上がり、農地を集積する担い手となるためだ。

代表を務める堀籠昭幸さんは「地域の農地が荒廃していく光景を見たくなかった」と当時を振り返る。

担い手となったことで、地域住民との会話や交流の機会が増えた。「サラリーマンをしていた時よりも身近に話ができることが嬉しい」と堀籠さんは語る。

現在、法人が集積した農地は、未整備圃場が多く、作業効率が悪い。山間地域のためイノシシなどの獣害も悩みの種だが、地域で協力し課題解決に取り組んでいる。

今後の展望について堀籠さんは「ネギやピーマンなどの作付けを増やし、通年出荷で切れ目のない経営を目指したい」と語る。

【記事提供】大和町農業委員会

社員の川和田さん（左）と堀籠さん



今年の田植え作業の様子

